

スポーツ推進委員だより



平成28年9月発行
第33号
桶川市スポーツ
推進委員連絡協議会

新会長挨拶



岩崎 浩司

大変お世話になっております。平成28年4月より、桶川市スポーツ推進委員連絡協議会会長を務めさせていただく事になりました。今年度より6名の新人を迎え23名でスタートをきりました。今年度事業がすでに始まっていますが、シニア初心者バスハイク、ミニバレー教室と開催出来たのも、多くの方に参加していただいたからです。ありがとうございます。

スポーツ推進の役割として、平成23年8月に制定された「スポーツ基本法」の制定、平成24年4月「スポーツ基本計画」が策定されスポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことはすべての人々の権利であるとされ、スポーツは、青少年の健全育成や地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会・経済の活力の創造、国の国際的地位の向上等国民生活において多面にわたる役割を担うとされています。この役割を担う為に、スポーツ推進委員に資質の向上を図ることが求められています。シニア世代以外に次世代の方、障がい者スポーツへの取り組みも積極的に行い、地域スポーツ推進活動の中心的役割を担ってまいります。

新任・退任紹介

平成28年度スポーツ振興課職員は小島輝夫課長が新たに着任され、樋口敦俊主任が留任、蓮見明久主事と片山大夢主事補も新たに着任されて4人体制になりました。推進委員のメンバーも8人が退任され、新たに6人の方々が委嘱されました。

大沼 忠儀	19期38年
竹本 静子	17期34年
藤井 豊美	7期14年
中村 節子	7期14年
天沼 好弘	3期6年
柏 直樹	2期4年
米山 由來	1期2年
清水 大輔	1期2年

皆さん永年にわたり、率先して行事に取り組んで頂き、大変お世話になりました。

新メンバーの今後の活躍を期待します。

和久津正樹

好きなスポーツは、陸上競技と野球です。微力ではありますがありますが、宜しく願います。

加藤 元一

研修会や諸事業に積極的に参加し自己研鑽する事で、スポーツ推進委員としての資質を高め貢献したいと思えます。どうかご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いします。

小川 茂

ニュースポーツなど色々なスポーツに触れ合い、自分自身も楽しみながら、地域の方々の健康づくりのお手伝いをしていきたいと思えますので、宜しくお願いします。

寺山 直美

スポーツの楽しさを多くの方々々に伝えていける様頑張ります。よろしく願います。

新井 由紀

みなさまとスポーツ、レクリエーションを楽しんでいきたいです。宜しくお願い致します。

松崎 恵美

スポーツを通し親睦を深められたらと思っております。よろしく願います。



(右から)

小島課長
樋口主任
蓮見主事
片山主事補



(右から)

新井/松崎/和久津
寺山/小川/加藤

前会長挨拶



大沼 忠儀

ありがとうございます

本年3月31日をもって、スポーツ推進委員を定年退任いたしました。

昭和53年4月1日付けにて、桶川市体育指導委員に任命され、以来38年に渡り大変お世話になりました。

新任時の桶川市教育委員会は道祖土教育長、保健体育課長は武藤克己氏で、体育指導委員には、会長の栗原祥師氏を始め、桶川市スポーツの代名詞土田初太郎氏、陸上の江尻齊氏、同じく池田元二氏、柔道の村田四郎氏、国鉄の秋山柳吉氏、バレーボールの須田広志氏体育指導委員として、体育協会として一番永く一緒させて戴いた元会長の加藤弘氏、また同期として加納の岸野延夫氏、剣道の手塚哲男氏等々、桶川市の錚々たる著名な方々で、みなさんが自己主張のできる実力者揃いで、体指会議も活発議論の場であり、私も体育指導委員として諸先輩方に育てていただきました。

保健体育課ではのち桶川市民にとって、教育委員会の顔のような存在になる新卒3年目の斎藤勝美氏が新しい風を吹かせ、この年ごろから新規事業（夜行日帰りの尾瀬バスハイク、2泊3日の千葉岩井海岸小学生臨海スクール、同じく小学生の2泊3日三峰キャンプ、後に群馬県野反湖に変更、夜々朝までの、桶中〜上尾〜北本〜桶中と荒川土手お月見ハイキング、一般対象の水泳教室、一般対象の長期6か月間バドミントン教室を年2回、一般対象卓球教室、ニュースポーツ教室、ユニホッケー、ペタンク、ラケットテニス、ゲートボール、インディアカ、グラウンドゴルフ、ソフトバレーボール等々、年ごとに拡大を続け県内で断ト

ツの事業実績を上げ、斎藤氏とも意気投合し、充実した体育指導委員を続けさせていただきました。

その後の流れも保健体育課榎本隆彦氏に引き継がれ、前記ニュースポーツ4種目は連盟、協会へと発展しました。

榎本氏には、斎藤氏同様に敬意にさせていただき若き日の楽しい思い出を数多く作らせていただきました。

その間、次期スポーツ振興課を更に充実させるであろう野本光則氏、小島輝夫氏が新しい力を発揮し且つ、体育指導委員への理解とお気遣いでのバックアップが連絡協議会の大きな力となっていました。

平成21年スポーツ振興課に榎本隆彦氏が課長となり戻ってきましたが、時代の流れはどの自治体も財政緊縮へ、予算確保と事業確保に大変な苦勞をしていました。

平成23年6月議員立法により「スポーツ基本法」が制定され、8月に施行されました。（桶川市では24年1月1日よりスポーツ推進委員となる）

この年より埼玉県スポーツ推進委員協議会副会長を受け協議会の改革を託され、各市町村の負担金の見直し、規約の改正、県協議会50周年記念事業、また、県体育協会のプラチナキッズにも携わり、桶川市の活動とは違った経験をし、最後4年間も充実した推進委員でした。

38年間のスポーツ推進委員、締めくくり、前島富雄教育長に委嘱されましたこと、大変光栄に思っています。ありがとうございました。

私の最後のスポーツ振興課長、野口誠一様、1年ではありましたが、多大なお気遣いありがとうございました。初田和樹様、いろいろ多くの我がままを聞いて戴いてありがとうございました。

27年8人が退任しましたが、竹本静子様、34年間大変お世話になり、ありがとうございます。たくさん美味しい料理、舌が覚えています。

中村節子様、藤井豊美様、困った時のご協力いつもありがとうございます。

お二人には、一前に退任された野武ひさ子様、新谷眞知子様とともに総合型スポーツクラブ、このゆびとまれでは今後もご迷惑をおかけします。

ほんの少しの心残りは、スポーツ振興課にお戻りの小島輝夫課長と仕事が一緒出来なかったこと、28年度新任の

和久津正樹様、加藤元一様、小川茂様、松崎恵美様、新井由紀様、寺山直美様、6名の方とスポーツ推進委員として関わりが持てなかったことです。

今期は23名スタートになりましたが、2020年までのスポーツ環境の変化とそれ以後の推移を鑑みて、障がいのある人たちを含めた、桶川市民の健康とスポーツ文化の確立を目指して、岩崎浩司会長、村田浩太郎副会長、天沼夕希子副会長を中心に皆さんそれぞれが今まで以上に研修を積み、資質の向上を計り、尚且つ自身が楽しみながら新しい連絡協議会のご活躍、新展開を期待しています。

終わりに、市民の皆様、多くの先輩の皆様、スポーツ振興課の皆様、連絡協議会の皆様、永きに渡る、ご厚情、ご高配に感謝申し上げます。ありがとうございます。

前副会長挨拶



竹本 静子

体育指導委員及び

スポーツ推進委員34年を振りかえって

思いおこせば昭和57年4月に桶川市体育指導委員に任命され教室の中では人気のありました卓球教室を主に担当しました。伊奈町体育指導委員との研修も始まったばかりで、何かと行事が増え、女性体育指導委員の活躍の場が増えた時期でした。また、女性体育指導委員が少なく3名から5名へと増員した年でしたので、市教育委員会主催の各教室行事において女性という立場からの参加は大変でした。当時の市民バスハイクは年2回実施しており、尾瀬沼大清水や富士山ご来光など、夜行出発で行う大変なイベントでした。女性体育指導委員の参加が少なく毎回参加させて頂きました。市スポーツ行事の中で

は女性にとっては特に大変な秩父三峰神社及び群馬県六合村野反湖の少年少女体験キャンプや千葉県岩井海岸で開催した少年少女臨海スクールは今でも心に残っておりまます。サンアリーナがオープンして以来毎日のように通い多種多様なクラブ・サークルを育成し、多くの市民の皆様方から慕われながら今では私の生きがいとなっております。永い間私を何かと支えて頂きました仲間の皆さん誠に有り難う御座いました。

平成28年度

関東スポーツ推進委員研究大会 山梨大会に参加して



村田浩太郎

お陰様で、「関東スポーツ推進委員協議会表彰」を受賞する事となりました。体育指導委員・スポーツ推進委員となんとか22年間続けて来られた事で表彰して頂けたようです。関東大会や全国大会は、平日に行われるため今までは、参加する事が出来なかったのですが、賞を頂いたことで今回初めて参加することが出来ました。

大会は、6月3日、山梨県の野外音楽堂の「河口湖ステラシアター」で行われました。大会テーマは、「地域を繋ぎ、地域を生かし、地域を元気に」日本航空高校のダンスと吹奏楽で開会、表彰式は埼玉県から11名、関東から87名がステージ上で、ピンクがトレードマークの飯田忠子関東スポーツ推進委員協議会会長より一人ずつ手渡されました。続いて【記念講演】、【基調講演】【パネルディスカッション】と進みパネリストの義足で2.03メートルを跳ぶ鈴木徹（筑波大学大学院・パラリンピック走り高跳び日本代表）が、印象に残りパラリンピックでの活躍を応援していきたいと思いました。

一日目が、終わり皆が席を立ち始めると「ちょっとお待ち下さい。皆さんにプレゼントがあります。」と放送があり、ステージの後ろの壁と天井が徐々に開いて富士山が真正面に姿を現しました。6月4日は、ハイランドリゾートホテルにて行われた第一分科会：研究協議に参加しました。事例の発表の後、他県のスポーツ推進委員とのグループ討議、活動状況の交換をしました。この度、賞を頂いた事で、大会に参加できとても充実した時間を過ごすことが出来ました。なかなか満足した活動が出来ませんが、お役に立てる間は、少しでも永く続けて行きたいと思います。

平成28年度

総会・推進委員研修会

4月17日桶川市飯庁舎にて、午前は推進委員の研修会、午後は総会を行いました。

研修会は、埼玉県県民生活部スポーツ振興課、主査相原博和氏を講師に迎え「今スポーツ推進委員に求められること」について、講義をしていただきました。

最初に現在の埼玉県のスポーツ（総合型地域スポーツクラブの設置、児童の体力テスト、国民体育大会等）の現状をスライドを見ながら説明をして頂きました。スポーツ推進委員とは、地域における体育・スポーツの「推進役」、行政と地域住民との「調整役」。そして推進委員に期待する役割は、地域のスポーツリーダーとしての自覚と熱意、指導・助言力向上のための研修と資格の習得等、課題は沢山ありました。

北地区スポーツ推進委員研修会

6月11日（土）桶川市の主管で桶川サン・アリーナ内の施設で開催しました。

桶川市から小池、山下、渡辺推進委員が、功労賞を受賞しました。

実技研修は、桶川市健康体操と桶川市総合型スポーツクラブ、新谷真知子講師によるスクエアステップをおこないました。当日参加した47名の推進委員が全員笑顔で積極的に取り組んでいました。



ミニバレエ教室

前期、5月9日～6月13日 毎週月曜日全6回16名
桶川東中、後期、6月16日～7月21日 毎週木曜日全6回26名 桶川サン・アリーナ（サブ）にてミニバレエ教室が実施されました。
9月4日に開催される第10回市民ミニバレエ大会に向けて皆さん一生懸命にプレーされておりましたので大会当日がとても楽しみです。



前期シルバニアニユースポーツ教室

5月10日～6月7日まで毎週火曜日全5回の教室が、桶川サン・アリーナで行われました。
まず初めに準備運動として「オケちゃん健康体操」などで体をほぐしました。

その後ディスクゴルフ、スクエアステップ、ラダーゲッター、ディスクゲッター、スポーツ吹き矢、室内グラウンド・ゴルフを1回に1〜2種目ずつ体験しました。48名の参加率は9割超と毎回楽しみに参加して下さる方が多かったようです。

そして今回注目したいのが初登場のスクエアステップです。

あらゆる年齢層の体力づくりに適するエクササイズですが、40個の正方形が並んだマットの上で足踏み（ステップ）するだけの運動です。一見簡単に見えますが、そのステップパターンは様々な難易度で100種類以上との間にか夢中になる魅力あるエクササイズで、脳のトレーニングにもなると好評のようでした。今後また後期教室や大会も予定していますので、是非ご参加ください。



マックラ滝シニア初心者バスハイキング

5月29日（日）、日光霧降高原のマックラ滝シニア初心者バスハイキングを行いました。当初計画は龍王峡でしたが、コース途中が通行止めで十分な山歩きが出来ないことが分かり、急遽場所を変更しました。参加者は市民70名とスポーツ推進委員9名でした。

朝7時に桶川駅西口を大型バ

スで出発し、現地駐車場に9時半に着きました。10時頃



から歩き始め、霧降の滝、丁字滝、玉簾滝、マックラ滝を周遊するコースで、昼食を含め約4時間のハイキングを楽しみました。さわやかな日差しの下、新緑と沢の流れや藤の花も多く見られ、みごとな滝を見る事が出来ました。場所が変わって残念と言う声も有りましたが、多くの皆さんに満足して頂けたと思います。

帰路は渋滞も無く予定より早めの17時少し過ぎに駅前に到着出来ました。参加者の皆さんありがとうございました。

湯の丸市民ハイキング

6月19日（日）、バス2台にて一路上信越高原国立公園の「湯ノ丸山」の眺望と、天然記念物の「レンゲツツジ」を期待して地蔵峠に向いました。

地蔵峠駐車場↓湯の丸スキー場↓つつじ平↓遭難防止の鐘↓湯ノ丸山山頂↓烏帽子岳分岐↓湯の丸キャンプ場↓地蔵峠駐車場までのコースでした。

スタートから急な登りでしたが30分程で「つつじ平」に到着。鮮やかな朱色に咲き誇る「レンゲツツジ」の大群落を満喫する事が出来ました。

遭難防止の鐘を鳴らし、山頂までは更に険しい登りが続きましたが、笹の間から顔を覗かせる「コマクサ」「イワカガミ」等の高山植物や谷間から「ウグイス」の囀りに癒されながら登頂する事が出来ました。

山頂はガレ地で遮る物が何も無く360度見渡せる大パノラマ、少し霧が出ていたので、残念ながら期待していた白馬三山からの北アルプス全貌を見る事は叶いませんでしたが、烏帽子岳や登って来た道を振り返ると笹の登山に隠れていた浅間山も見ることが出来ました。

山頂で昼食を摂り、天候の変化も気になりましたので少し早めに下山する事にしました。途中から雨天になり、急な下りに加えて滑りやすい状況でしたが無事下山する事が出来ました。



後半は雨天となりましたが、参加された80名の皆様お疲れ様でした。

南部支部北地区 スポーツ推進委員連絡協議会 野外活動指導者研修会

8月6・7日の2日間、上尾市スポーツ推進委員連絡協議会主管による野外活動指導者研修会（上尾市・北本市・桶川市、参加者38名）が開催されました。

研修会場となった新潟県南魚沼市塩沢勤労者体育センターで沼市塩沢勤労者体育センターでラダーゲッターを体験しました。1チーム5人8班に分かれ対抗戦のチーム制で行われました。スピードラダーゲッターでは1

段目2段目3段目、全てのパーにボールを引っ掛けた後に、全員でボールの周りを1周走りタイムを競うゲームをしました。賞も出るため、大いに盛り上がりました。

2日目は、石打丸山スキー場までのハイキングをしました。雪景色ではない石打丸山の景色も綺麗でした。

また、3市での情報交換も出来今後に生かせる研修となりました。



編集後記

下半期の行事も多数予定しており、皆様のご参加をお待ちしております。

編集委員：岩田真一、田坂めぐみ、長島房子、山下智

弘、小池尚道、木村恭子、加藤元一